

第6学年〇組 学級活動（1）指導案

日 時 平成〇年〇月〇日（〇）第〇校時

授業者 〇〇 〇〇

児童数 男子 14 人 女子 21 人 計 35 人

1 「6年生でがんばってきたことを5年生に伝えよう」

2 議題について

（1）児童の実態

本学級の児童は生き生きとしていて、男女の仲がよい。一人一人が自分の個性や能力を伸ばそうと努力することができる温かい雰囲気も感じられる。このような中で、授業中に自分から発表しようとしていなかった児童が「がんばってみる。」と言いながら発表を行い、みんなが拍手を送ったり、忘れ物が多かった児童が、自分のために忘れ物をしないように、そしてクラスにも迷惑をかけないように努力をしたりと、個々の意識が少しずつ変わってきている。

4月から、児童は様々な話し合いをしてきた。議題ボックスを教室に設置し、クラスのために提案したいことを考えさせ、用紙に書いてボックスに入れることができるようにしてきた。集めた議題を、代表委員を始めとした児童が『今すぐ解決すること』と『学級会で話し合いたいこと』に分類し掲示する。『今すぐ解決すること』では、当番活動で周知されていない問題などを再度確認するために短い時間で話し合いを行う。このことに関しては、給食の時間や朝の時間を使い、誰もが心地よく過ごせるように児童が解決してきた。『学級会で話し合いたいこと』について、4月には、話し合いの柱を全員で確認しながら学級会の流れを再確認し、次第に計画委員が主体的に計画を立てられるようになってきた。時には折衷案を出し、折り合いをつけながら、なるべくみんなが納得する形で決めていくことが行えるようになってきた。また、学級会で決めたことに関して協力し合い、楽しく、真剣に取り組む様子が見られた。

5月には、校内音楽会に向けて自分たちができることを話し合った。どうしたら聴いている人に自分たちの演奏する気持ちを音楽で伝えることができるか、何度も話し合い、練習を繰り返した。本番では、みんなで立てた目標を達成するために一人一人が自分の力を出し切ったと感じた。音楽会終了後の振り返りでは、「体は疲れ切っていたが、笑顔を見せようと頑張っているみんなの姿を見ながら自分も頑張ることができた。」や、「みんなで話し合った表情のことを意識して歌うことができた。こんなに音楽を好きになり、楽しく歌ったり弾いたりすることは今までにはなかった。」などの記述がみられた。

7月には、1学期のお楽しみ会について話し合った。プレゼント交換をどのように行うかについて悩んだ末に、「言葉でありがとを伝える。」という意見に拍手が起き、全員が納得してお楽しみ会を迎えることができた。学級会の翌日に行われたお楽しみ会だったが、1学期に頑張ったこと、クラスの良さ、友達への感謝の言葉、2学期も絆を深められるようによろしく、という暖かいメッセージを綴って、丁寧に作られたカードを交換し、全員がうれしそうにカードを読む姿を見ることができた。

また、2学期には、運動会の騎馬戦や大玉送りでどうしたら力を発揮できるか、悔いのない運動会ができるか、児童は話し合いを重ね、運動会当日を迎えていた。練習では個々の思いが上手く伝えられなかったり、話し合いを重ねても結論がなかなか出せずに行き詰まりを感じたり、失敗や挫折を味わいながらも、最終的には全員が力を出し切って運動会を終え、担任からみても児童の成長を感じることができた。

このように、学級会や学級活動を通して、よい人間関係を築きながら集団として、個人として成長してきた本学級であるが、話し合いの技術については課題もみられる。アンケートからも明らかのように、意見を出し合う場面では、自分の意見を伝えることを躊躇してしまう児童も見られることが一つの課題である。そのために、学級会ノートを活用し、柱に対する意見や理由を書かせ、学級会に臨んでいる。自分の意見を持つことで他の意見と比較し、他の意見の良さに気づいてほしい。また、二つ目の課題として、45分間で何を重点として話し合うかを計画委員で決めることが挙げられる。計画委員を中心として、学級会の事前の活動の時間を確保し、必要に応じて教師がアドバイスを行っていく必要がある。本学級の児童は、よく相手の意見を聞き、多数決ではなくみんなで納得しあって決めようという方向で学級会を行っているが、時間がかかってしまうことが度々ある。そこで、45分で議題を解決するために、めあてと柱を分かりやすく立てられるように計画委員を支援していきたい。そして、三つ目の課題として、活動後の振り返りをしっかり行うことが挙げられる。その方法として、児童が書いたジャーナルという振り返り日誌を紹介したり、児童全員が寄せ書きのように振り返りを書いた模造紙を掲示したり、学級の歩みとしての掲示物を作成したりするなど、様々な方法を試みてきたが、どの方法が効果的なのかを現在も模索している。「活動が楽しかった」で終わるのではなく、めあての何が達成されたのか、次は何をめあてとしていくのかという振り返りも丁寧に行っていきたい。

(2) 議題選定の理由

本学級の児童は、これまで縦割り班活動・1年生のお世話・クラブ・委員会等で下級生と関わってきた。その際、上級生として自分たちに何ができるのだろうか、どう関わったら下級生が成長してくれるだろう、という気持ちを持ちながら活動に取り組み、自分から積極的に行動することや、相手が安心してくれる言葉がけや行動することを学びつつ、交流を楽しんできた。

また、本校開校50年の6年生として、50年式典に臨むにあたり、式の中で歌う合唱のために多くの話し合いと練習を行った。児童一人一人がこれ以上できないと思うほどの精一杯の力を発揮し、自分たちの力をつけてきた。そして、学校のリーダーとしての自覚も高めてきた。

〇〇小学校のリーダーとしての児童会活動は、10月の〇〇祭を終えて5年生に引き継がれ、6年生は卒業に向けて送られる側となる。そこで、〇〇小学校を引き継いでもらう5年生に、これまでどのように行事を乗り切ってきたのかを伝えさせたいと考えた。乗り切るためにクラスでどのように協力してきたか、挫折や苦しいことをどのように乗り切ってきたか、終わってみてどのような気持ちであったのかを今一度振り返らせ、5年生に伝えることで、自分たちが行ってきたことが確実に〇〇小で引き継がれていくという思いと、自信を持たせたい。そして、この活動から卒業までの4カ月がさらに充実したものになるようにしていきたい。

(3) 6年〇組 学級会意識調査アンケート結果 (本年5月実施)

質問内容	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1 学級会 (話し合い活動) は好きですか?	14	19	2	0
2 話し合い (柱) にそって、自分の考えを持つことができますか?	14	15	5	1
3 学級会 (話し合い活動) で、進んで発表できますか?	11	5	11	8
4 話し合った後に、クラスがよくなりましたか?	16	17	2	0

3 研究課題との関わり

(1) 西部地区学力向上のための授業研究会の研究課題

「主体的な学びを促し、思考力・判断力・表現力等を育む授業の在り方」

(2) 研究の視点

「内容 (1) について話し合い活動充実のための方策」

(3) 重点と手立て

重点① 自他の考えの良さや違いを認めることができるようにする。

- ・意見の発表が活発になるように、事前に学級活動ノートの柱に対する意見・理由を書かせて学級会に臨むという経験を積んでいく。
- ・それぞれの意見のよいところを見つけて話し合えるように、事前に学級活動ノートに目を通して児童の考えを把握し、自信をもって発言ができるようにさせる。
- ・発表する時間をもたせることにより、がんばっていた友達を認め合い、相互評価ができるようにさせる。

重点② 学校生活の諸問題に気づき、仲間と協力して活動することができるようにする。

- ・クラスや学年・学校の現状に目を向け、先を見通しながら、議題提案カードを使って議題を募集できるようにしていく。
- ・提案理由を三段階 (現状・手立て・見通し) で分かりやすく提示し、話し合う必要感を持たせ、共通理解して話し合えるようにする。
- ・一人一人が責任をもって、自分の役割を果たせるように支援する。
- ・司会のめくり原稿で学級会の進め方を学び、繰り返し用いて誰もがつかむことができるようにする。
- ・合意形成の方法を掲示してそれらを活用し、多様な集団決定の仕方を積ませていく。
- ・活動を振り返らせ、よかったことを認める時間を持ち、お互いを認めることができるようにする。
- ・決定した事柄や先の予定を掲示するなど見通しをもって活動できるようにする。

重点③ 集団決定した事柄を、一人一人が実行できるようにする。

- ・話し合い活動で集団決定したことを、協力して活動させる。
- ・集団決定した事柄に対し、自分の役割を進んで行っている児童を称賛する。
- ・クラスのあゆみを掲示することで児童が活動を振り返り、集団決定した事柄を進んで行う意欲を高め

させる。

- ・担当者選びや役割分担を丁寧に行い、進行状況の確認を自分たちで行えるようにさせる。

4 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団生活や生活についての 知識・理解
自分たちの学級や学校生活をよりよくするために、進んで話合いに参加しようとしている。	学校生活や学級の向上を目指した問題を選び、その解決のために相手の立場に立った広い視野から方法を考え、協力して実践している。	学級の自発的・自治的な活動の必要性や集団で意見をまとめる際の計画委員会の役割や話合いの仕方を理解している。

5 事前の活動

月 日 ()	活動の 場	活動の 主体	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿と評価方法
11月15日 (水)	休み時間	計画委員	・提案ポストを開け、提案内容を確認し、選定する。	・クラスの実態に即した議題の分類ができているか確認し、助言する。 ・各提案の扱いを明らかにし、提案者に伝えられるようにする。 ◎よりよい学校生活づくりのために、進んで議題を選ぼうとしている。(関心・意欲・態度)【提案カード・観察】
11月22日 (水)	昼休み	計画委員 全員	・今後の議題を選ぶ。 ・計画委員による議題の選定 ・第15回学級会の議題を全員で確認する(議題選定)	・クラスをより豊かにするもの、切実感や必要観のあるもの、学級全体にかかわるものであるかを確認し、助言する。 ◎議題選定の視点を理解している。(知識・理解)【観察】
11月24日 (金)	昼休み	計画委員 提案者	・活動計画と学級会ノートを作成する。 ・提案理由をクラスに伝える。	・見通しをもって話合いが進められるように助言する。 ・提案者とともに検討し、思いや願いがクラス全体に伝わるようにする。
11月27日 (月)	昼休み	計画委員	・話し合うこと(柱)、めあて、時間配分を決め、役割分担をする。	・提案理由に沿っためあてが考えられるように助言する。 ・提案理由、決まっていること(条件)を共通理解できるように必要に応じて助言する。 ◎提案理由を踏まえためあてや柱立てを

				考えている。(思考・判断・実践)【学級会ノート・観察】
11月28日 (火)	帰りの会	全員 計画委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会ノートに自分の考えを記入する。 ・話合いの準備(話合いの予想や手立てを考えて進行の練習をする)を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見の記入が十分でない児童には、提案理由を踏まえて書けるように助言する。 ◎提案理由に沿った意見や会の目的に合った意見を考え、判断し、ノートに記入することができる。(思考・判断・実践)【学級会ノート】
11月29日 (水)	休み時間 昼休み	計画委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の学級会ノートに目を通す。 ・話合いの準備(話合いの展開の予想と進行の確認)をする。必要な道具を準備する。 	◎「6年生でがんばってきたことを5年生に伝える会」を開くために、話し合うことを理解している。(知識・理解)【計画委員活動計画】
11月30日 (木)	朝の会	全員	・教師の言葉が書かれた学級会ノートを受け取り、読んで準備をする。	・事前に学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話合い活動への意欲を高める。

6 本時のねらい

○これまでの7ヶ月間の生活を振り返り、自分たちの頑張りや成長を5年生に伝える方法を考えることができるようにする。

7 展開 (別紙 当日配布いたします)

8 指導上の留意点

話合いの順序	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿と評価方法
1 はじめの言葉	・計画委員は、(司会1名、副司会1名、黒板記録2名)前に出て活動する。ノート記録1名は記録しやすい位置で記録する。他の児童もコの字型に机を並べ、互いの顔を見て話し合えるようにする。
2 計画委員の紹介	
3 議題の確認	・事前にめあてを決めさせておき、自信をもって言えるように励ます。
4 提案者の紹介と提案理由の確認	・提案理由は、話のよりどころとなる大切なものなので、計画委員会の児童と提案者の児童、教師と一緒に練り上げたものを提示できるようにする。
5 話合いのめあての確認	・めあてをしっかりと自覚できるようにする。話合いの前に必要があれば教師が補足説明する。
6 決まっていることの確認	・決まっていることをしっかりと確認する。話合いの前に必要があれば教師が補足説明する。

<p>7 話し合い</p> <p>① 伝える方法を考えよう</p> <p>② 必要な役割分担を決めよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに進行し、話し合いが深まるように助言する。自治的範囲を超えそうな場合は、必要に応じて指導する。 ・意見は、短冊に書いて掲示し、時間の短縮をする。 ・常に提案理由やめあてに沿って話し合いが進められるようにする。 ・意見を言うときは、理由を含めてしっかり言えるようにする。 ・「くらべる・まとめる」段階では、質問→比較→検討と進めるようにする。 ・友達の意見をよく聞いて、新たな意見や折衷案を考え、発言できるようにする。 ・提案理由を踏まえ、伝える会の目的に合った内容を考え、発言できるようにする。 ・「まとめる」段階では、反対していた児童への確認や提案者の気持ちなどを考慮して決定できるようにする。 <p>◎話し合いに積極的に参加し、意見を言おうとしている。 (関心・意欲・態度)【観察・学級会ノート】</p> <p>◎提案理由やめあてを意識して、全体のことを考えた発言をしている。 (思考・判断・実践)【観察・学級会ノート】</p> <p>◎話し合いの仕方や、よりよい解決方法が分かる。 (知識・理解)【学級会ノート・観察・計画委員会活動計画】</p>
<p>8 決まったことの発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート記録がはっきりと決まったことを言えるように支援する。
<p>9 話し合いの振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達のよさについて本時を振り返って感想が書けるように助言する。
<p>10 教師の話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員や提案者を労い、意欲的に発言できた児童、めあてや提案理由に沿った発言ができた児童、全体を考えてまとめる意見を出せた児童を称賛する。また、今後の話し合いの進め方の課題と実践への意欲付けをする。 ・時間内に決まらなかったものがあつた場合は、どうするか確認させる。 (翌日の朝の会などに行う。)
<p>11 終わりの言葉</p>	

9 事後の活動

児童の活動	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿と評価方法
<p>12月1日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを学級会コーナーに掲示する。 ・具体的な役割分担を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会で決まったことの要点をまとめて書けるように計画委員を支援する。
<p>12月1日(金)～12月11日(月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを守って、活動できるように支援する。

<p>・担当ごとの準備（途中経過を報告し合えるようにする。）</p> <p>12月12日（火）</p> <p>・「6年生のがんばりを5年生に伝える会」当日。</p> <p>12月13日（水）</p> <p>・振り返りシート（感想）の記入</p>	<p>・協力したり、工夫したりして活動できている児童を称賛する。</p> <p>・自信をもって活動ができるよう支援をする。</p> <p>◎準備や伝える会に進んで取り組もうとしている。</p> <p>（関心・意欲・態度）【観察】</p> <p>◎集会の目的を考え、友達と協力し責任をもって準備したり、参加したりしている。</p> <p>（思考・判断・実践）【観察・振り返りカード】</p> <p>・全体や個人の取り組みを振り返り、お互いの良さを認め、今後にかけるようにしていく。</p> <p>・肯定的に振り返りができるようにする。がんばったところを称賛し、励ますことで意欲付けを図る。</p>
---	---

10 板書計画

